

ティーカップに愛を ベティ・ニールズ選集 18  
(ハーレクイン・イメージ)

2月20日刊

I-2504

ハーレクイン・イメージ

Image

ティーカップに愛を

ベティ・ニールズ / 松村和紀子 訳

B・ニールズ  
選集 18



 ハーレクイン®

発売日: 2018年2月8日

出版: ハーレクイン

著者: ベティ・ニールズ

愛を注がれないわたしはまるで、からっぽのティーカップ……。

見習い看護師のアグネスは夜勤明けに講義に出席したとき、最前列のまんなかだというのに思わず居眠りをしてしまい、オランダ人外科医フラーム・デル・リンセンに叱責された。長身で肩幅の広い彼がぱりっとした服を着た姿はいかにも魅力的で、壇上の彼を見上げる周囲の女性たちは恍惚のため息をついている。アグネスはデル・リンセン医師の冷たく光る碧眼に射られ、赤面した。「君は尊敬心に欠けている。それに厚かましい」ああ、もしも姉みたいに美人だったら、こうは言われなかったのかしら？自分への自信のなさや淡い想いとに心乱れるアグネスだったが、それからまもなく、ひどく惨めな姿を再び彼に目撃されてしまう！

優しく穏やかな作風が今なお愛され続けるベティ・ニールズの名作。牧師の家庭に生まれた5人きょうだいの末娘アグネスは姉たちに似ず冴えない器量で、親から“かわいそうな子”と呼ばれる始末。ちょっぴりいじけ気味な彼女の小さな恋の行方は？

<http://yep.pm/kZRCKIni5/CedD6B7d5.pdf.rar>